

第39回 PTA広報紙コンクール

読みたい!となる 広報紙作りのポイント

市内各区より応募があった広報紙141紙(小学校90校、中学校38校、特別支援学校3校、高等学校4校、区P6協議会)から21紙が入賞されました。

今年度の特徴としては、タイトルに読み手をひきつけるものが多くありました。写真、レイアウト、色使いが素晴らしい、読みごたえがあり、また読みたいと思うような作品がたくさんありました。

入賞作品は3月14日から22日まで高津市民館ウォールギャラリーに展示され、訪れた方々は興味深く熱心に見入り感心していました。

3月22日には同市民館大会議室にて表彰式が行われました。川崎市立渡田中学校長の佐藤利行氏からは、「審査をするにあたり、大変素晴らしい作品ばかりで、選出するのに苦労しました。どの作品が一位となってもおかしくない作品ばかりでした。審査の基準と致しましては、会員の意識の向上、会員相互理解、学校教育の理解、家庭と学校を結ぶ、会員の声が組み込まれているかがポイントとなります。」

また、編集の技術と致しましては、ひきつける見出し、効果的なリード、紙面バランス、効果的な写真や図表などがポイントとなります。そして、PTAの視点で作られていることが大切だと思います。

PTAのみならず、少人数の時間を、集まり、よりよいものを作成してくださったのだなと感じました。このご講評をいただきました。

神奈川新聞社川崎総局長の瀧村誠氏からは、「最近の傾向と致しましては、写真の出来栄でも評価の一つになってきました。文章でたくさん書くより、一枚の写真でうたった方が非常にわかりやすいです。ただ、写真だけではなくて、そこに写真の説明があると、さらによりなります。今後、広報紙作成において、とても参考になるアドバイスをいただきました。」

受賞した幸町小学校PTA会長、石田勝氏より「幸町の保護者と教職員全員の日頃のチームワークでの受賞です!」とのコメントをいただきました。

表彰式に参加いただいた各校の広報委員の方からは、時間のない中、工夫しながらメンバーで互いに信頼を寄せ合い、皆で楽しく作り上げていったという内容の感想をいただきました。



第39回 PTA広報紙コンクール 入賞PTA

Table with columns: 賞 (Award), 入賞校PTA名 (Winning PTA Name), 広報紙名 (Newspaper Name). Lists winners from幸町小学校 to 橋高等学校.

新年度 役員研修会

楽しく身につく防災知識



安部 清人氏

令和元年5月17日(金)高津市民館にて川崎市PTA連絡協議会新年度研修会が開催されました。

PTA活動発表、防災士、実際に東日本大震災を経験した安部清人氏を講師としてお招きし「防災エンスショー」を開催しました。

「防災エンスショー」は、防災を学ぶ、いざという時PTAは...と題し、実験を交えながら楽しく講演をしていただきました。



広報紙がPTA、学校、家庭、地域、他校間の大切な橋渡しとなっていることを感じました。

平成30年度優良PTA 文部科学大臣表彰受賞 PTA活動報告

川崎市立子母口小学校 父母と先生の会

役員会・運営委員会

5年足らずで学校が荒れる傾向があらわれました。科学的な力で命を守る「防災」から「減災」へ「LED」災害時に適している明かり 明るい・熱くない・長持ち 「マジックバルブ」外すと懐中電灯になるLED電球 「消えない信号機」停電時に自動的予備電源に切り替わる自動復旧型信号機 「エア断震システム」空気の力を利用して建物全体を浮かせます。

安部氏の仙台市PTA協議会では、防災教育支援・復興支援の活動をしているとのこと。私たちが、子どもたち地域の方々との防災について常に話し合っておくことが大事なことだと気づかされる講演でした。

PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川

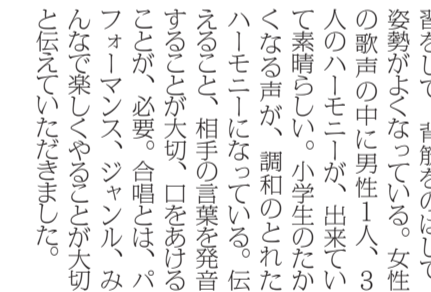
PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川

PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川

PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川

PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川

PTA活動は、子どもたちが安全で安心して生活できるためのより良い学校環境作り活動ですが、そのためには私たち保護者と先生方、地域の方々との連携し、信頼し合いそして一緒に楽しく活動することが大事だと思います。川



平成31年2月23日(土)、高津市民館大ホールにて第51回PTAコーラス大会が行われました。



第51回 PTAコーラス大会の様子

今年度は、今年度も2部に分かれ、午前の部14校、午後の部17校の歌声が、ホールに響きわたりました。

今回は、今まで練習をしてきたこと、経験を積み重ねてきたこと、そして次につなげるために一段と熱が入っていることが、印象づけられるようにどの学校も力をいれて多くの皆さんが参加していただき、今日このコーラス大会に臨んでいるとおもいます。

練習の積み重ねにより、女性の歌声、男性の歌声、小学生の歌声がひとつになりました。講師をいただき、橋田國治先生

最近退院してきました。朝、発声練習をして、背筋をのびして姿勢がよくくなっている。女性の歌声の中に男性1人、3人のハーモニーが、出来ていて素晴らしい。小学生のたかくなる声が、調和のとれたハーモニーになっている。伝えること、相手の言葉を発音することが大切、口をあけることが、必要。合唱とは、パフォーマンス、ジャンル、みんなで楽しくやるのが大切と伝えていただきました。

一年間、練習をしてきて、ひとり一人が輝いている。団体の中で集まって「輪」から広がるのが素晴らしい。OBの方、地域の歌うきかきがあれば、仲間もふえてくる。①声の響きをかんばりすぎない。②呼吸、プレス、深い呼吸をする。③言葉の発音、日本語を大切に、歌詞を意識して、相手につなげる歌になる。と伝えていただきました。

また、会場に来ていただいている皆さんの暖かく見守っていたらいい。舞台上で発表する皆さんも楽しく表現することができました。また来年もこの場所で、あたたかな拍手を頂けるよう、楽しい歌声を期待したいとおもいます。

地域の連携が強く懇話会があり、地域の農家さんの野菜等のバザーや、花見・一泊旅行等が開催されている。文部科学大臣表彰の基準として、予算管理が適切であることが挙げられる中で、当PTAでは会計決算報告書において、繰越金が7.2%となっている。どの学校も4月5月の運転資金をどう切り切るかが、不安なところだが、過去の実績データをもとに分析し、切り切ることができた。

1年生の全保護者に委員会に所属をお願いする。そうすることで、横のつながりができコミュニティが広がる。この結果、全会員の約半数がPTA活動に携わらずに迎えていた問題を解消。また、役員のリミットとして、役員を経験した会員は、次年度以降に入学する生徒の1学年時の委員会所属を免除することとした。

地域の連携が強く懇話会があり、地域の農家さんの野菜等のバザーや、花見・一泊旅行等が開催されている。文部科学大臣表彰の基準として、予算管理が適切であることが挙げられる中で、当PTAでは会計決算報告書において、繰越金が7.2%となっている。どの学校も4月5月の運転資金をどう切り切るかが、不安なところだが、過去の実績データをもとに分析し、切り切ることができた。

地域の連携が強く懇話会があり、地域の農家さんの野菜等のバザーや、花見・一泊旅行等が開催されている。文部科学大臣表彰の基準として、予算管理が適切であることが挙げられる中で、当PTAでは会計決算報告書において、繰越金が7.2%となっている。どの学校も4月5月の運転資金をどう切り切るかが、不安なところだが、過去の実績データをもとに分析し、切り切ることができた。

地域の連携が強く懇話会があり、地域の農家さんの野菜等のバザーや、花見・一泊旅行等が開催されている。文部科学大臣表彰の基準として、予算管理が適切であることが挙げられる中で、当PTAでは会計決算報告書において、繰越金が7.2%となっている。どの学校も4月5月の運転資金をどう切り切るかが、不安なところだが、過去の実績データをもとに分析し、切り切ることができた。

地域の連携が強く懇話会があり、地域の農家さんの野菜等のバザーや、花見・一泊旅行等が開催されている。文部科学大臣表彰の基準として、予算管理が適切であることが挙げられる中で、当PTAでは会計決算報告書において、繰越金が7.2%となっている。どの学校も4月5月の運転資金をどう切り切るかが、不安なところだが、過去の実績データをもとに分析し、切り切ることができた。